

監督回顧録

スポーツと社会

堀江 茂雄



まず最初にこの記念誌に駄文をのせていただけることを感謝いたします。私は監督として昭和43年（1968）から47年までわずか4年間でしたが在任しました。今もって誇りと思っ

ています。私事で恐縮ですが、人生の中で燦然と輝いた時期です。

しかしながら社会の流れとは恐ろしいものです。この時期に安保闘争に端を発する学生運動が激化し、遂に全国を席捲する学園紛争に発展しました。過激派は大学の校舎をバリケードで占拠しました。全くスポーツどころか、授業もままならない事態に陥りました。しかしこの激動の嵐もやがて鎮静化して大学も平穏をとりもどしました。今もって残念なのはこんな混乱の中でも冷静に責任を全うしなかったことです。本当に私がレスリングを愛して、また学生の指導者としての自覚を持って事に当たっていただければ、と慙愧の念にたえません。

さて我が部が創設されたのは昭和23年（1948）ということになります。当時は第二次世界大戦が終結して3年目でした。いまだ国土は焦土と化して大都市には親を失った浮浪児がさまよいました。また帝銀事件等々の物騒な事件が相次ぎ、食糧事情も悪く裁判官一家がヤミ米を買うことを拒否して餓死するという悲惨な時代でした。

こんな環境の中で我々の先輩がレスリング部をつくったということに身内のことながら敬意を表します。当時のスポーツのハイライトは水泳の古橋選手でしょう。戦勝国アメリカの選手をグウの音も出ないほど打ち破り次々に世界新記録を塗りかえました。そのあとはプロレスの力道山です。大きな体の外人レスラーに雨あられと空手チョップをたたきつけました。スポーツは世の中を明るくし、我々に力を与えました。以来50年、数々の人々の努力が積み重ねられました。

先ずこの間に部の活動の裏方として部の発展に寄与された方々に感謝いたしたいと思います。但し私が昭和32年（1957）に入部して以来の方々に限らせていただきます。

先ず最初に故松井清氏です。色々のご異論もありましょう。しかし氏が長年にわたり様々な面で部を支えてきた事は否定できません。特に余り豊かとはいえない財政的な面の援助と、また関西勢の中央レスリング界での地位の向上に努力されました。

次に伴義孝氏です。前述の学園紛争で荒廃した体育会活動を復活させました。以来四半世紀粘り強く部の存続に努力された功績は大であります。特に現今の学生気質を熟知し彼らにマッチした練習方法で命脈を保ってこられました。

次に選手として関大健児の名をあげたお二人に登場していただきます。

まずは横山勝利氏です。活躍状況は本誌に詳しいはずですが、あえてあげますと昭和30年の全米選手権フリー・グレコ両スタイルで優勝され、ユ

ニバシアード大会では惜しくも銀メダルでした。この頃といえば、日本の経済も朝鮮戦争の特需の影響で少しずつ上向きの状態でしたが、いまだ物が豊かという時代ではありませんでした。また当時は圧倒的に関東勢が優勢の中での活躍でした。

次はやはりあの市口政光氏です。一見おとなしそうで、小柄なほうの体格で、目立たない男でした。しかし日本人離れのした胸板の厚さでした。入部して1ヶ月もたたないうちに相手を頭の上まで持ち上げるタックルを会得し、その春のリーグ戦では大活躍でした。さらに研究熱心と、関東の大学の合宿に参加するなどの積極的な姿勢で、3年生の時に早くもローマオリンピック大会(1960)に出場しました。その後も一人で猛トレーニングに励み東京オリンピックのグレコローマンスタイルの金メダルを獲得しました。

この二人に共通するのは、共に柔道の素地があったのと、試合になってマットにあがると別人のように目が爛々と輝くことです。

最後に私が監督として接した二人に登場してもらいます。その理由は努力の二文字です。

一人目は長井暁氏です。彼は合宿の中日の休みにやったバスケットボールでドリブルもできなかった男です。その彼が昭和43年(1968)の全日本選手権のグレコローマンスタイルで二位になりました。彼は神戸の御影に住んでいて毎日六甲山の頂上までランニングしたそうです。

次に富田力氏です。およそレスリングには不向きな細身でした。しかしスパーリングはマットにあがりっぱなしであったように思います。彼は悪いタックルの見本のような両ヒザをついた姿勢から相手の股間に頭を入れて持ち上げるという独特の技でポイントゲッターとして、また主将として頑張りました。

ご二人に共通するのはほとんど運動神経というもの縁遠いということです。

また私事にわたって恐縮ですが、この前の30周年のときは私も若くて、地域活動のレスリングに

熱い時期でした。しかしあれから20年という歳月は仕事の方に気持ちが走ってしまい、何か心が漠然としています。したがってこれ以上書くことと失礼になろうかと思しますので、仲間のことについてはひとまず筆をおき、「スポーツと社会」に視点を移して、書かさせていただきます。

この半世紀は全ての面で激変の時期でした。科学の発達で技術革新は著しく人々の生活は豊かになりました。しかし精神的なものは如何でしょうか。いささか貧しいといわねばなりません。学校での「いじめ」の問題や不登校さらには凶悪な犯罪も起きております。こんなときこそ、スポーツが大きな役割を果たすのではないのでしょうか。

しかしこれにも色々な問題があります。その第一が指導者です。コーチは、スポーツ経験者で、またその種目の経験者でなければいけないというわけではありません。しかし誰もが最初に教わるコーチは正しい理論と実技が必要ではないのでしょうか。そして本当に純粋に「人間が」「スポーツが」好きな人がいると思います。もう一つは時代の反映でもありましようか、勝利第一主義がはびこっている事です。スポーツはそこに至るまでの過程が大切なのではないのでしょうか。先ずは基礎体力の養成と基本の反復が必要であります。これによって自然にアスリートが生まれ一人の人間の成長に役立つものと信じます。

最後にこれからも部の長い歴史をつくる人達に一言残しておきたいと存じます。レスリングという競技はもちろん才能は必要ですが、努力次第で一流までは無理としても、かなりの水準までに到達できます。毎日マットの上で苦しんでください。減量にも耐えてください。ケガにも泣いてください。それでも強くなれなくても一生の財産となります。それを元手にして、人生の金メダルを獲得してください。(昭和36年卒)

関西大学レスリング部監督
大阪府レスリング協会理事

西日本学生レスリング連盟常任理事
寝屋川市レスリング協会副会長
(歴任)

〔編集部注解〕

堀江さんは「30周年記念誌」に監督在任中の所感を次のように述べています。



関西大学レスリング部の30周年にあたり、前監督といたしまして僭越ではありますが一筆とらせていただきます。

一言に30年と申しますが十年一昔と言いますから、ことに外来スポーツということを考えあわせまして、三昔というのは貴重な年月であります。それが日本のレスリングの歴史と言っても過言ではありません。いわんや関西レスリング界に、果たした役割はまことに大なりと信じます。

それを創出したのが団結協調の伝統です。学歌に「自然の秀麗・人の親和」と謳われますが、「人の親和」の精神を具現したこの伝統は長い部史を貫きました。

これは栄枯盛衰の変遷のなかで「栄」を高め、「衰」を支えた大木の幹にたとえられます。

この「幹」からは種々の「枝」が延びました。指導者としては、松井清（日本レスリング協会副会長・全日本学生レスリング連盟会長）、押立吉男（西日本学生レスリング連盟理事長）、佐々木 徹（大阪府レスリング協会理事長）、市口政光（日本レスリング協会強化コーチ）、伴義孝（国際特級審判員）を、そして国際的選手として横山勝利（国際青年スポーツ大会2位）、西脇義隆（全米チャンピオン）、市口政光（東京五輪・世界選手権大会ゴールドメダリスト）、山本定夫（世界選手権大会5位）を生み出しました。その他多くの指導者、名選手を内外に輩出しております。

かかる榮譽ある部の監督を、その重責をも省みず、引き受けましたことは一生の光栄でした。何故ならば、その使命を通じて人間の素晴らしさを知り、人生の崇高さを教えられたからです。

社会と特に政治とスポーツが表裏一体をなしていることは自明の理です。私が就任しました昭和43年（1968）頃は池田首相時代の神武景気による高度成長期から安定期に入り、国民もようやく戦争の惨禍を忘却し、世の中に新しい秩序が生まれ、生活にある程度の余裕ができた時期でした。

このような社会の趨勢のもとにスポーツマンシップにも微妙な変化が生じました。この時代以前の運動選手は、社会の軋轢に抗して、全人格を投入して、何事にも馬鹿になって打ち込む人が大勢を占めていました。それに対して、彼らは人生をより有意義にしようとスポーツを行う気風になってきたようです。

戦後に生まれ窮乏を知らない選手の人生観、価値観は、そこから何かを掴みとろうとするより、体方面における健康増進という面を重視する傾向に変わりつつありました。

このような過渡期にあっても、関大レスリング部には敢闘精神が残存し、連覇記録を延ばしました。（堀江茂雄）



堀江さんの監督時代は大学紛争の最中でした。堀江さん本当にご苦労さまでした。上記の所感にも触れてありますが、「口肥えて礼節を忘れる日本人」が巷のあちこちでトンデモないことをしでかす時代になりつつありました。学生もオチオチとレスリングなんかには打ち込めない喧騒な社会の風が吹いていました。そんななか、指導者として、よく耐えて、堪えて、関大レスリングの伝統を守ってくれました。（完）